

すわみつえ通信

No.337 2024年11月11日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

保険証廃止は撤回し、保険証を残そう！

自民・公明政権が2024年12月2日に健康保険証の新規発行を停止し、マイナ保険証への一本化を強行しようとしています。マイナ保険証の利用率の低さは依然、続いています。

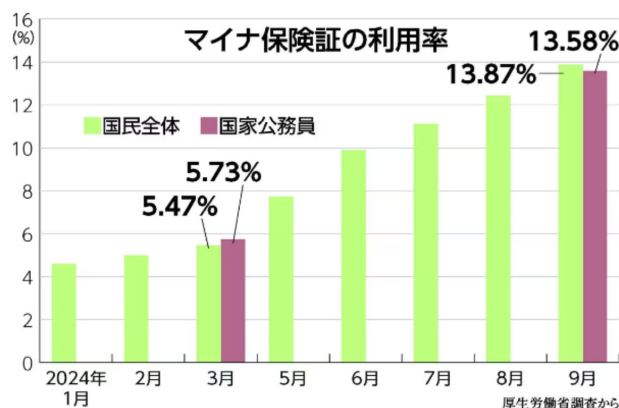
○現在の国保保険証・後期高齢保険証はそのまま使える 2025年7月31日まで有効

本市においては、9月議会に、本年12月2日をもって保険証を廃止するための議案が提出され、日本共産党と社民党以外の賛成で可決しました。

現在、発行されている保険証は来年7月31日までの有効期限ですので、医療機関では引き続き利用可能です。マイナンバーカードは任意での取得ですので、持っていない方は、来年8月1日以降は「資格確認書」が市役所から郵送されます。「資格確認書」で受診ができます。敢えてマイナ保険証を取得する必要はありません。

○国家公務員の利用率、全国平均より低い

しんぶん赤旗11月10日付の1面で、国家公務員の利用率が全国平均より低いことが報道されました。(下のグラフ参照)この間、政府は217億円の税金を、医療機関や薬局に「支援金」としてバラマキ、マイナ保険証利用の促進をしましたが、効果はありません。



○マイナ保険証トラブルに資格確認ができる現行の保険証が有効

医療機関では、マイナ保険証のトラブル(別人の情報が登録されるなど)が未だに発生しているということです。トラブルの対応では、「持ち合わせていた保険証で資格の確認をした」ということです。総選挙で過半数割れした自公政権の負の産物「保険証廃止」は撤回すべきではないでしょうか。

映画「ちむぐりさ」を観て



鴻巣革新懇が総会とともに実施した、映画「ちむぐりさ」を観ました。能登半島の珠洲市で生まれ育った15歳の少女が沖縄のフリースクール・珊瑚舎スコーレに通い、そこで出会う人々とともに学び成長していく姿を、自らのことばで綴ったドキュメンタリーです。

戦争で学校に通えなかったお年寄りとの交流を通して、沖縄で今なお戦争が続いていることを肌で感じとっていく。対照的に流れる学校での楽しい時間。北陸中日新聞で「菜の花の沖縄日記」と題したコラムに書き続け、本になっています。「ちむぐりさ」……「あなたが悲しいと、私も悲しい」という意味の沖縄のことば。

見ごたえのある良い映画でした。

【俳句コーナー】

立冬や「トランプ勝利」にあきれたり

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

第46回
放送文化基金賞
エンターテインメント部門
優秀賞

第40回
「地方の時代」映画祭
優秀賞

第57回
ギャラシー賞
奨励賞

サンマデモクラシー

SANMA DEMOCRACY

統治者アメリカを相手に人々が訴えたのは、
民主主義とはなんだ？という単純な問いかけだった。
沖縄史に埋もれた伝説のサンマ裁判を描き出す
ノンストップドキュメンタリー

オキナワ
爆笑珍騒動!!!

沖縄がまだ日本でなかった
頃に起きた
落語のような
ホントのはなし



監督・プロデューサー 山里孫存 ナビゲーター うちな〜喃家 志いさー ナレーション 川平 慈英 音楽 巻く音 / Jujumo 撮影・編集 祝 三志郎
制作協力 公益財団法人 民間放送教育協会 製作 沖縄テレビ放送 配給 太秦 【2021/ 日本 / DCP / カラー / 99 分】 © 沖縄テレビ放送



2024年11月16日(土) 埼玉会館小ホール

①10:30~12:10 ②14:00~15:40

前売券

1000円(当日1200円)

主催

平和・民主・革新の日本をめざす埼玉の会(埼玉革新懇)

チケットの問い合わせ先: 鴻巣革新懇 諏訪 ☎090-9376-1408